

令和3年度 公益財団法人山梨県スポーツ協会事業報告書

事業報告

事業概要

本協会は、県民のスポーツニーズを的確にとらえ、県民一人ひとりがスポーツに親しめるよう、スポーツの振興を図っていく公益財団法人としての使命を果たすため、経営計画やスポーツ推進計画に基づき、加盟団体との連携を一層強化しながら「スポーツ協会の運営」、「スポーツの推進」、「利用環境・効率の向上」を重点に次の事業を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議や委員会において書面による決議や書面による意見聴取及び資料送付、各種大会等については中止や延期となった事業については次のとおり表記した。

※書面による決議 ※書面による意見聴取 ※資料送付 ※オンライン開催 ※中止

事業実施状況

(法人管理)

I スポーツ協会の運営

1 理事会、評議員会等の運営

(1) 理事会	第1回(通常)	令和3年 6月 3日(木)	
	第1回(臨時)	令和3年 6月18日(金)	
	第2回(通常)	令和3年 8月 4日(水)	
(2) 評議員会	第2回(臨時)	令和3年11月29日(月)	
	第3回(通常)	令和4年 3月15日(火)	※書面による決議
	定 時	令和3年 6月18日(金)	
(3) 総務委員会	臨 時	令和3年11月29日(月)	
	第 1 回	令和3年 6月 3日(木)	
	第 2 回	令和3年 7月28日(水)	
	第 3 回	令和3年11月18日(木)	
(4) 加盟団体関係会議	第 4 回	令和4年 3月 9日(水)	
	令和3年4月8日(木)	市町村体育・スポーツ協会事務局長・事務担当者会議	
	令和3年4月8日(木)	加盟競技団体・学校体育団体理事長会議	

2 事務局の運営

(1) スポーツ庁が、スポーツ団体における適切な組織運営を行う上での原則・規範として策定した「ガバナンスコード」について、本協会においても適用し遵守状況について公表する等、コンプライアンスの強化とガバナンスの確保に取り組んだ。

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

ア 賛助会員の加入募集

イ 寄附金(免税寄附金)の募集及び制度の活用促進

(3) 総合的人材育成システムの運用

「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上のため、研修会の開催や各種講習会及

び資格取得研修への参加等、総合的な人材育成を行うとともに、職員倫理やコンプライアンスの徹底、向上を図った。

(公益目的事業)

II スポーツの推進

1 専門委員会の開催

スポーツの推進を図る上で必要な事項について検討するため、専門委員会を開催する。

(1) スポーツ振興委員会	第1回	令和3年 6月 1日(火)
	第2回	令和3年11月 8日(月)
	第3回	令和3年 3月 1日(火)※書面による決議
(2) 広報委員会	第1回	令和3年 5月21日(金)
	第2回	令和3年11月12日(金)
	第3回	令和4年 3月 4日(金) ※書面による意見聴取
(3) スポーツ医・科学委員会	第1回	令和3年 6月 3日(木)
	第2回	令和3年11月11日(木)
	第3回	令和4年 3月 3日(木)※オンライン開催
(4) 境川自転車競技場運営委員会	第1回	令和3年 5月10日(月) ※書面による意見聴取
	第2回	令和4年 3月 7日(月) ※書面による意見聴取
(5) スポーツ少年団常任委員会	第1回	令和3年 5月14日(金)
	第2回	令和3年 6月24日(木)
	第3回	令和3年10月20日(水)
	第4回	令和4年 2月25日(金)※書面による決議

2 子どものスポーツ機会の充実

(1) スポーツ少年団の育成

ア スポーツ少年団組織の活性化

スポーツ少年団組織の活性化を図るため、理念と意義の浸透、指導者養成と資質の向上、幼児加入に対する取り組みについて、内容、方法を検討した。

(ア) 指導者協議会評議員会の開催

令和3年5月11日(火) 小瀬スポーツ公園武道館第2会議室

(イ) アクティブ・チャイルド・プログラムの普及と団活動への浸透

子どもたちが、楽しみながらからだを動かすことのできる「アクティブ・チャイルド・プログラム」の普及・浸透を図るため、研修会を開催した。

令和3年7月17日(土) 小瀬スポーツ体育館サブアリーナ・研修室

参加者19人

イ 団員交流事業の促進

特定の種目に偏らず、さまざまなスポーツを体験させ運動感覚を養うとともに、野外活動や文化活動等とおして創造性や協調性を育むことを目的に、各種大会の開催及び助成

を行うとともに、各種中央大会への団員及び指導者の派遣を行った。

(ア) 県内交流事業

a 第43回山梨県スポーツ少年大会

令和3年8月14日(土)から15日(日)に1泊2日で八ヶ岳少年自然の家において開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。

b 第14回山梨県スポーツ少年団フェスティバル

令和3年4月10日(土)に小瀬スポーツ公園武道館において開催した。

参加団9団 参加団員93人

c 第40回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会予選会

軟式野球 令和3年 6月19日(土)ほか 上野原桂川少年野球場ほか

バレーボール 令和3年 6月20日(日)ほか 昭和町総合体育館ほか

ミニバスケットボール 令和3年 6月13日(日)ほか 忍野村民体育館ほか

バドミントン ※中止

空手道 ※中止

d 全国スポーツ少年団競技別交流大会予選会

バレーボール 令和3年11月7日(日) 昭和町総合体育館

剣道 令和4年 1月8日(土) ※中止

(イ) 県外交流事業

a 第52回関東ブロックスポーツ少年大会への派遣

令和3年8月24日(火)～26日(木) 神奈川県 ※中止

b 第59回全国スポーツ少年大会への派遣

令和3年9月19日(日)～20日(月) 東京都 ※中止

c 第40回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会への派遣

令和3年7月24日(土)～26日(月) 茨城県 ※中止

(軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道)

d 全国スポーツ少年団競技別交流大会への派遣

第43回 野球 令和3年8月13日(金)～16日(月) 沖縄県 ※中止

第44回 剣道 令和4年3月26日(土)～28日(月) 高知県 ※中止

第19回 バレーボール 令和4年3月27日(日)～30日(水) 島根県 ※中止

ウ 市町村スポーツ少年団の組織強化

スポーツ少年団組織の指導体制の強化と組織の資質向上を目指し、その機能を充実させるため、団員交流や単位団の活性化を図った。

(ア) スポーツ少年団市町村事務担当者会議の開催

スポーツ少年団の理念と意義や単位団の活動のあり方等の理解を深めてもらうとともに、連携強化を図るため担当者会議を開催し、各市町村の課題や情報を共有した。

令和4年2月15日(火) 新型コロナウイルス感染拡大を受けオンライン開催

(イ) 県内スポーツ少年団交流事業への助成

県内市町村スポーツ少年団において団員の交流を図る事業に助成した。

(ウ) 県外スポーツ少年団交流事業への助成

近隣の県外団員との交流を促進し、団活動の活発化を図る事業が新型コロナウイルス

感染拡大のため中止になったため助成は行わなかった。

(エ) 母集団育成事業への助成

単位団を支える“母体となる集団”の育成を図る事業については、令和3年度から指導者育成の委託事業の中で行うことに変更したため助成は行わなかった。

(オ) 体力テスト事業への助成

自己の体力を把握し、健康管理や体力づくりを促進する事業については、令和3年度から県内交流事業の中で行うことに変更したため助成は行わなかった。

(カ) 全国規模競技大会参加者団員への助成

家庭の経済状況によらず、全てのスポーツ少年団員が全国大会を目指すことができる環境を整えるため参加にかかる交通費及び宿泊費の助成する予定であったが、全国規模の競技大会が新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったことから助成を行わなかった。

(キ) 指導者育成事業の委託

指導者の資質向上並びに指導者組織の整備拡充を図るための事業を委託したが、委託先の市町村において新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

(2) スポーツ機会の提供

子ども達が身体活動の持つ楽しさや成功体験を経験することにより、将来的なスポーツへの可能性を広げられる事業として「子どもスポーツキャラバン」を年間5回実施した。

富士吉田スポーツ協会(2回)、甲府市石田児童館(3回)

3 生涯スポーツ活動の推進

(1) スポーツ大会の開催

ア 山梨県体育祭り

県民一人ひとりがスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフの創造と地域のスポーツ振興を図り、明るく豊かで活力あるふるさとづくりを目的に開催に向けて準備を進めていたが、山梨県がまん延防止等重点措置を実施すべき区域に追加されたことを受け、令和3年8月20日に夏季大会の水泳競技、秋季大会の中止を決定した。

(ア) 令和3年度実行委員会総会の開催(第74回夏秋季大会・第75回冬季大会)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会場を小瀬スポーツ公園武道館第1会議室から小瀬スポーツ公園体育館メインアリーナに変更して実施した。

令和3年 4月23日(金) 小瀬スポーツ公園体育館メインアリーナ

(イ) 第74回夏季大会

カヌー競技	令和3年 5月30日(日)	精進湖カヌー競技場
ボート競技	令和3年 6月20日(日)	河口湖漕艇場
セーリング競技	令和3年 6月27日(日)	山中湖村ヨットハーバー沖
少林寺拳法競技	令和3年 7月11日(日)	小瀬スポーツ公園武道館
水泳競技	令和3年 8月22日(日)	小瀬スポーツ公園水泳場 ※中止

(ウ) 第74回秋季大会

組合せ抽選会 令和3年 7月29日(木) 小瀬スポーツ公園武道館

中心会期(42競技)	令和3年9月11日(土)・12日(日)・19日(日) 小瀬スポーツ公園ほか ※中止
総合開会式	令和3年9月11日(土) 緑が丘スポーツ公園大体育館 ※中止
総合閉会式	令和3年9月19日(日) 小瀬スポーツ公園体育館サブアリーナ ※中止

(エ) 第75回冬季大会

スケート競技(フィギュア)	令和4年2月11日(金) 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ
スケート競技(スピード)	令和4年2月5日(土) ※中止
スキー競技	令和4年3月13日(日) サンメドウズ清里 ※中止
アイスホッケー競技	令和4年3月26日(土)～27日(日) 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ ※中止

イ 山梨県スポーツ・レクリエーション祭

「第1回全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を記念して、県民が気軽に参加でき、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら、交流を深める場となることを目的に開催した。なお一部の競技については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(ア) 令和3年度実行委員会総会の開催

令和3年4月5日(月)

(イ) 第33回山梨県スポーツ・レクリエーション祭

令和3年4月29日(木)、5月15日(土)、16日(日)、23日(日)、6月19日(土)
マスターズ陸上競技など16種目1協賛種目を実施 小瀬スポーツ公園他
※インディアカ、綱引、フォークダンス及び協賛種目の武術太極拳は中止

ウ 第58回山梨県一周駅伝競走大会

スポーツ県やまなし宣言記念事業の一環として、県内各地区の代表チームによる県一周駅伝競走大会を開催し、スポーツの普及啓蒙を図った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開・閉会式は行わず、沿道での応援は自粛を呼びかけた。

令和3年12月4日(土)から5日(日) 山梨県全域

(2) 参加機会の充実

ア スクールの開催

(ア) スポーツ健康づくり教室

生涯スポーツの必要性及び継続して行うことの大切さを理解してもらえよう、スポーツや運動をする機会を提供し、サークル活動等による自主的な活動への発展を促し、スポーツライフを支援した。なお、開催に当たっては、「スポーツ健康づくり教室等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を作成し、感染拡大予防対策を講じた上で開催した。また、コロナウイルスの感染拡大に伴う県からの臨時特別協力要請発出期間等である冬期教室の開催は中止とした。

小瀬スポーツ公園 教室数 74 参加者数 4,739人

富士北麓公園 教室数 14 参加者数 552人

(イ) トレーニング室利用者証の発行・実技指導

a 利用者証の発行

トレーニング室初回利用者を対象に安全に施設を利用してもらうためトレーニング室の利用説明を行い利用者証を発行した。

利用者証発行者数 2,321人

受付 随時

発行料 無料(施設利用料別途)

b 体質改善プログラムの提供

メタボリックシンドローム改善のため体組成測定器を用い、筋・脂肪割合、体組成成分、メタボリック情報等10項目について評価を行い、それに基づいて適切な運動プログラムを提供した。

実施者数 1,825人

体組成測定 随時

測定料 測定のみ(結果説明、運動アドバイスを含む)200円/人

c 実技指導

利用者の目的に応じたトレーニングメニューを提供するとともに、機器の効果的な使用方法を指導し、トレーニング効果を高めた。

なお、健全な発育発達を考慮し、中学3年生からの利用とした。

実技指導実施者数 5,781人

実技指導 随時

指導料 無料(施設使用料別途)

(ウ) 富士北麓公園フリーウエイトトレーニング室利用講習会

フリーウエイトトレーニング室利用者が、利用基準にしたがって施設を安全により効果的に利用してもらうため、講習会を開催し修了証を発行した。

利用講習会受講者数 50人(15回開催)

(エ) スポーツ体験コーナー

新たにスポーツをするきっかけを創出するため、山梨県レクリエーション協会、ミズノグループ及びヴァンフォーレ甲府と連携し、無料で軽スポーツやニュースポーツ等を体験できる「スポーツ体験コーナー」を1回開催した。

イ スポーツフェスティバルの開催

各年齢層に応じたスポーツを楽しむ機会やふれあいの場を提供し、スポーツの楽しさと爽快感を体験するとともに、スポーツへの興味や関心を高め、スポーツを実践する動機づけとなるような大会・イベントの開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染急拡大により、子どもスポーツフェスティバル、ミドルスポーツフェスティバル、スクールフェスティバル(バドミントン・カーリングの部)、シルバースポーツフェスティバル第5回は中止とした。

なお、大会・イベントの開催に当たっては、「スポーツ健康づくり教室等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を作成し、感染拡大予防対策を講じた上で開催した。

小瀬スポーツ公園 実施イベント日数 8日 参加者数 1,982人

富士北麓公園 実施イベント日数 6日 参加者数 872人

ウ セミナーの開催

(ア) スポーツ医・科学セミナー

国体強化選手、指導者及びスポーツ愛好者等を対象に、スポーツ医・科学委員会と連携し、健康の保持増進や体力づくり、競技力の向上等を目的としたスポーツ医学やスポーツ科学のセミナーを対面・オンラインのハイブリッド形式で開催した。

令和3年11月13日(土) 武道館第1会議室

講演Ⅰ 「スポーツ関連脳振とう」その理解とケアの重要性について

講演Ⅱ 「ラグビー競技の脳振とうに対する考え方と対応状況について」

国体実施競技監督・コーチ、部活動指導者、選手等 参加者56人

(イ) 健康・体力づくりセミナー

スポーツを愛好している一般の人たちを対象に、身近なスポーツの技術・技能の紹介や健康・体力づくりの基礎的な知識を提供するセミナーを計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。

(3) プロスポーツ・イベントの誘致・開催

ア プロスポーツ・イベントの積極的な誘致とトップアスリートを招聘したスポーツイベントの開催については8月に「山梨プロレス祭り」のみ開催した。

イ ミズノビクトリークリニックの開催

指定管理においてミズノと協力体制にあることから、ミズノ所属および契約のトップアスリートやプロ指導者と直接ふれあえる「ミズノビクトリークリニック」を開催し、スポーツを「する」人をはじめ、「みる」「ささえる」人にも魅力的なスポーツイベントとして県民の夢と希望を広げ、地域活性化の機会を創出した。

令和3年9月20日(月) 講師 折茂武彦(バスケットボール)

会場 小瀬スポーツ公園体育館サブアリーナ 参加者数 46人

令和3年12月5日(日) 講師 市川華菜(陸上競技) 青戸慎司(陸上競技)

会場 富士北麓公園富士ウッドストレート 参加者数 39人

(4) 地域スポーツの活動への支援

ア 高齢者向け体力測定

活力ある超高齢化社会を目指し、高齢者関係機関・団体に出向き、身体運動の基本となる歩行能力評価と運動指導をセットにした運動プログラムを提供を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送った。

イ 指導者派遣

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動を支援するため、要望に応じ指導者を派遣し、健康・体力づくりの指導を行った。

指導者派遣 9回 参加者数 125人

ウ 軽スポーツ用具の貸出

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動に対して、軽スポーツ用具の貸し出しを行った。

小瀬スポーツ公園 貸出回数 109回 延利用者数 2,325人

富士北麓公園 貸出回数 10回 延利用者数 236人

(5) 障がい者スポーツの推進

専門的知識やノウハウなどの情報を有する山梨県障がい者スポーツ協会のほか、各専門関係団体と連携し、障がい者と健常者が共に参加できるイベントとして、3on3ストリートバスケットボール大会は開催したが、カーリング大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

4 競技スポーツの推進

(1) 競技力の向上

本県選手が国民体育大会や各種大会等において優秀な成績を収めることができるよう競技力の向上を図るとともに、県民のスポーツへの関心を高め、本県スポーツの発展を期するため、各種会議を開催するとともに各種事業を行った。

ア 競技力向上対策本部の運営

(ア) 本部会議(年4回)

- 第1回 令和3年 7月 1日(木) 武道館第1会議室
- 第2回 令和3年 9月 1日(水) ※書面決議
- 第3回 令和3年11月 4日(木) 武道館第1会議室
- 第4回 令和4年 3月 2日(水) ※書面決議

(イ) 理事長・事務局長・主任強化コーチ会議(年3回)

国体出場競技団体の理事長、事務局長、主任強化コーチ等に対し、競技力向上に関する説明会を実施した。

- 第1回 令和3年 5月18日(火) 武道館第1会議室
- 第2回 令和3年11月16日(火) 武道館第1会議室
- 第3回 令和4年 3月 8日(火) オンライン開催

(ウ) 競技団体個別会議

対策本部委員と競技団体競技力担当者が面談を行い、今後の課題、方針等の意見交換を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、書面での意見聴取を行った。

イ 競技団体等への支援

(ア) 競技団体選手強化事業

国民体育大会に向けての候補選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に対し助成した。

(イ) 成年チーム指定強化事業

a 重点チーム強化

国民体育大会において優秀な成績を収めるため、重点強化チーム9チームを指定し、強化事業に対し助成した。

b 指定チーム強化

成年選手の競技力の維持向上を目指して、大学・企業・クラブチーム13チームを指定し、強化事業に対し助成した。

(ウ) 海外派遣奨励金の交付

日本代表として世界選手権等の大会に海外派遣された個人4人に交付した。

(エ) 競技団体等主催大会等助成事業

競技団体が本県において主催する関東大会以上の8大会について、運営費の一部を助成した。

(オ) 練習場確保事業

県立射撃場の整備凍結に伴う競技団体の練習場確保事業に対し助成した。

ウ 2巡目国体を見据えた競技力強化

昭和61年のかいじ国体以来2巡目となる本県開催での国体を令和14年に見据え、選手の発掘・育成事業に対し、事業費の一部を補助した。

(ア) ターゲットエイジ発掘事業

競技の普及や選手発掘を目的に小学生から中学生を対象とした各競技団体が単独で実施する個別発掘事業に対し一部を補助した。複数の競技団体が合同で実施する合同発掘事業は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったため補助しなかった。

(イ) ターゲットエイジ育成事業

国体正式競技である41競技において発掘したターゲットエイジを対象に技術向上のための練習会に対し一部を補助した。また、国体に近年導入された新種目及び女子選手の強化が必要な競技を定め重点強化するため一部を補助した。

(ウ) 指導者養成事業

国民体育大会の監督資格となる指導者資格保有者を確保するため、資格取得にかかる経費を補助した。

エ 国民体育大会選手等の選定及び派遣

予選会を実施し、選手の選考を経て、本県選手団を派遣する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大のため、8月26日に第76回国民体育大会の中止が決定した。これに伴い第76回国民体育大会関東ブロック大会も本大会中止決定以降の競技が中止となった。

(ア) 第76回国民体育大会関東ブロック大会

栃木県 令和3年5月30日(日)から8月30日(月)

※東京オリンピック・パラリンピック開催の関係で、中心会期の設定なし。

ホッケー競技ほか4競技 第76回国民体育大会中止決定のため中止

(イ) 第76回国民体育大会

会期前実施 令和3年 9月 4日(土)から14日(火) 三重県 ※中止

(水泳・体操・レスリング)

令和3年 9月18日(土)から20日(月) 三重県 ※中止

(柔道)

本大会 令和3年 9月25日(土)から10月5日(火) 三重県 ※中止

<開会式 令和3年9月25日(土)>

(ウ) 第77回国民体育大会

冬季大会関東ブロック大会

令和3年12月3日(金)から5日(日)(アイスホッケー) 栃木県

監督・選手26人

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

令和4年 1月24日(月)から30日(日) 栃木県

本部役員8人 監督・選手41人

冬季大会スキー競技会

令和4年 2月17日(木)から20日(日) 秋田県 本部役員7人 監督・選手30人

(エ) 日本スポーツマスターズ2021への派遣

令和3年 8月28日(土)から29日(日)(水泳) 岡山県 ※中止

令和3年 9月 8日(水)から10日(金)(ゴルフ) ※中止

令和3年 9月11日(土)から13日(月)(空手道) ※中止

令和3年 9月17日(金)から21日(火)(中心会期) ※中止

オ 医・科学サポート

(ア) 医学的サポート

国体関東ブロック大会(冬季大会含む)並びに国体冬季大会に参加する選手から提出された健康調査票を基に、メディカルチェックを実施し、選手の健康管理を行った。

国体本大会は中止となったため実施しなかった。

(イ) 科学的サポート

実施希望のあった、栄養関係、心理関係について対面での講習会を計画したが、県からの「新型コロナウイルス感染症拡大防止への臨時特別協力要請」によりオンライン形式に変更して開催した。

(ウ) 国民体育大会へのスポーツドクターの帯同

国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会参加時にスポーツドクターを帯同させ、選手の緊急医療時の対応やドーピング関係薬物の対応を行った。

カ 国民体育大会の開催

(ア) 令和14年度の第86回国民体育大会(令和6年から国民スポーツ大会に改称)の本県招致に向けて、加盟団体を取りまとめ、招致要望書の県への提出と、山梨県と緊密に連携して開催要望書の提出に向けて準備を進めた。

5 スポーツ環境の整備

(1) 人材の養成

ア 子どものための人材養成

(ア) スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

地域における単位団活動の中心的指導者を養成する講習会、スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を開催した。

第1回 令和3年 7月11日(日) 小瀬武道館第1会議室 参加者49人

第2回 令和3年10月24日(日) 小瀬武道館第1会議室 参加者48人

第3回 令和3年12月19日(日) 小瀬武道館第1会議室 参加者45人

第4回 令和4年 1月23日(日) 小瀬体育館サブアリーナ 参加者73人

(イ) スポーツ少年団指導者研修会

指導者等の資質向上と指導者相互の連帯を図るため、研修会を開催した。

令和3年12月11日(土) 小瀬武道館第1会議室 参加者30人

(ウ) 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を

図り、指導活動の促進方法について協議するとともに、スポーツ少年団活動の促進方法に資するための研究協議会が新型コロナウイルス感染拡大のためリモートによるオンライン開催となった。

令和3年11月 6日(土) オンライン開催 参加者5人

(エ) スポーツ少年団リーダーの養成

リーダー会の育成や指導者協議会との連携により、将来の指導者を養成するとともに、少年団の円滑な活動の推進を図った。

a ジュニア・リーダースクールの開催

単位団において、団員の模範となって活動するジュニア・リーダーを養成した。新型コロナウイルス感染拡大のため日帰りによる2日間の開催とした。

令和3年11月27日(土)から28日(日) 緑が丘スポーツ公園スポーツ会館ほか
参加団員16人

b シニア・リーダー研修会

中学生以上で、シニア・リーダー資格取得に意欲のある団員を集め、資質向上のための研修の開催を計画したが新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。

c 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団リーダーの相互の連携と資質の向上を図るための研究大会へ派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のためリモートによるオンライン開催になった。

令和3年10月16日(土) 参加団員2人 指導者1人

d リーダーの派遣

日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

新型コロナウイルス感染拡大のためリモートによるオンライン開催になった。

令和3年 8月17日(火)から20日(金) 参加団員1人

全国スポーツ少年団リーダー連絡会

新型コロナウイルス感染拡大を受けリモートによるオンライン開催になった。

令和3年 6月12日(土)から13日(日) 参加団員1人 指導者1人

e 山梨県スポーツ少年団リーダー会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成する計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため山梨県スポーツ少年団リーダー会の活動が縮小及びリモートによるオンライン開催になったことから助成しなかった。

イ 生涯スポーツのための人材養成

(ア) スポーツリーダー養成講習会

地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたることのできる指導者を養成する講習会予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため山梨県内で公認コーチ1養成講習会を実施する競技団体がなかったことから中止した。

(イ) 公認コーチ1養成講習会

競技団体から実施希望がなかったため開催しなかった。

(ウ) 公認コーチ2養成講習会

競技団体から実施希望がなかったため開催しなかった。

(エ) スポーツドクターの確保

医・科学委員会との連携と医師の協力のもと、スポーツドクターの確保のため、日本スポーツ協会開催の養成講習会へ4人の推薦を行った。

(オ) アスレティックトレーナーの確保

医・科学委員会及び競技団体と連携を図り、アスレティックトレーナーの確保のため、日本スポーツ協会開催の養成講習会へ2人の推薦を行った。

(カ) スポーツ指導者研修会の開催

公認スポーツ指導者の資質の向上と活動促進、指導者の連帯感を深めるため、研修会を開催した。

第1回 令和3年 6月19日(土) 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ ※中止

第2回 令和3年10月27日(土) 夢ワーク山梨 参加者45人

第3回 令和4年 1月22日(土) 東京エレクトロン韮崎文化ホール ※中止

(キ) 山梨県スポーツ指導者協議会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成した。

(2) スポーツ拠点の充実

ア 地域スポーツの充実

(ア) スポーツ振興ブロック会議

スポーツの振興に関し、各地域の市町村のスポーツ関係者と地域の課題等について意見交換を行い、推進強化を図った。

峡南地区 令和3年 6月22日(火) 身延総合文化会館 参加者48人

富士・東部地区 令和3年 6月23日(水) 都の杜うぐいすホール 参加者62人

峡東地区 令和3年 6月29日(火) 甲州市民文化会館 参加者32人

中北地区 令和3年 6月30日(水) 北巨摩合同庁舎 参加者64人

(イ) 山梨県スポーツ推進委員協議会との連携

各地域の県民がスポーツの生活習慣化できるような魅力ある事業を展開し、スポーツ拠点を拡充できるよう、山梨県スポーツ推進委員協議会との連携を図った。

(ウ) 企業・大学との連携

a 民間等他団体と連携することで、その団体が持つノウハウまたはネットワーク等を活用し、各年齢層を対象としたスポーツ教室を共催で行った。

b 高齢者の健康体力づくりのために、「山梨ことぶき勸学院」の生徒を対象に、有資格者による運動指導を行った。

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・登録・認証

(ア) 広域スポーツセンターの運営

県が設置した広域スポーツセンターを運営し、総合型地域スポーツクラブの創設や運営及びスポーツ活動について効率的に支援するとともに、スポーツクラブ運営の助言及び指導や登録・認証制度に向けた情報共有を行った。

総合型クラブ情報交換会 第1回 令和3年 6月25日(金)

第2回 令和3年 9月17日(金)

第3回 令和4年 2月25日(金) ※資料送付

(イ) 総合型地域スポーツクラブの育成と登録・認証

山梨県と連携し、クラブアドバイザーとともに県内各市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの状況把握を行うとともに、運営の助言及び指導を行った。また、総合型クラブの登録・認証制度の導入に向け、登録・認証制度の運用基準の策定を行った。

(ウ) やまなし総合型クラブ交流イベント

クラブ相互の交流と認知度アップを図るとともに、広く県民に参加を呼びかけ、スポーツ実施率の向上を促す契機とするため、県内スポーツクラブと連携しイベントを開催した。

令和3年11月23日(火・祝) 小瀬スポーツ公園体育館 参加者112人

ウ 管理施設の環境の充実

本協会が管理している施設については特に、新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを策定し、安全・安心に利用していただけるよう営業形態や環境整備に取り組んだ。

さらに、快適な利用のために、日々の施設の環境整備、備品の点検、AED の設置や職員の救急救命法の研修などを実施した。

(ア) 管理受託施設

a 小瀬スポーツ公園	413,203 人(前年度 307,557 人)
b 富士北麓公園	58,583 人(前年度 60,488 人)
c 緑が丘スポーツ公園	108,356 人(前年度 90,280 人)
d 八代射撃場	729 人(前年度 725 人)

(イ) 直営施設

a 境川自転車競技場	12,121 人(前年度 7,370 人)
------------	-----------------------

(3) スポーツの啓発

ア スポーツ情報発信

(ア) インターネットの活用

- ・インターネットを活用し、管理施設の情報、スポーツ教室やイベントの紹介を行った。
- ・やまなしスポーツ情報ネット内にシステム化されている「スポーツ指導者バンク」の運営を行い、スポーツ指導者の登録、紹介を行った。
- ・やまなしスポーツ情報ネットのスポーツ新着情報や大会情報等の更新を行った。
- ・SNS の活用として Instagram を用い、本協会の各種事業の告知や報告等を県民へ発信した。また、拡散力の強い Twitter も活用し、施設利用者の更なる獲得及び利用促進を図った。

(イ) 広報誌の活用

情報交換と提供の場としてスポーツ協会広報誌「スポーツやまなし」とスポーツ少年団広報誌「わかば」を発行した。

(ウ) スポーツ絵画・写真コンクールの開催

スポーツの絵画・写真を通して、スポーツへの関心を高めるとともに、県民のスポーツに対する意識の向上を図った。

イ 各種表彰

(ア) スポーツ協会表彰

体育・スポーツに尽力された方や全国大会及び世界大会に出場し優秀な成績を残した県内選手個人並びに団体、指導者を表彰した。

体育功労者73人 特別優秀選手8人 優秀選手25人・団体8チーム
特別優秀指導者4人

(イ) スポーツ少年団表彰

永年に亘り、団活動を活発に行い他の模範となるような単位団、並びに団活動に尽力しその功績が顕著な指導者を表彰した。

優良単位団 1団 優秀指導者 2人

(4) スポーツサポーター活動の推進

一般県民の方が本協会事業に「本協会の一員として同じ目標・理念を共有し活動に参加していただくことによりスポーツを支える」スポーツサポーターとしてボランティア参加していただける方策を打ち立て、これを長期にわたり安定した運営が行えるよう体制づくりについて検討した。

6 国際交流の推進

(1) スポーツ少年団のスポーツ交流

ア 日独スポーツ少年団同時交流

日独の友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、スポーツ少年団の発展に寄与するため、両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流を行う。

派遣事業 令和3年7月26日(月) から8月1日(木) オンライン開催 1人

(2) 競技スポーツ交流

ア 日中スポーツ交流

日中両国政府により実施された2007「日中文化・スポーツ交流年」を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施する計画であったが、競技団体から参加希望がなかったため実施しなかった。

イ 日韓スポーツ交流

2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催決定を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施する計画であったが、競技団体から参加希望がなかったため実施しなかった。

ウ 日ロススポーツ交流

2016年に発表された「ロシアにおける日本年」を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施計画であったが、競技団体から参加希望がなかったため実施しなかった。

(3) 東京オリンピック・パラリンピック

山梨県オリンピック・パラリンピック推進局及び関係団体と連携し事前合宿等の誘致に向けた業務を推進するとともに、山梨県事前合宿等誘致連絡会議において連絡調整を図った。

7 安心してスポーツに取り組めるスポーツ環境の推進

(1) クリーンでフェアなスポーツの推進

ア フェアプレイの推進

スポーツを真に楽しく行う上では欠かせないフェアプレイを推進するため、日本スポーツ協会の「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン運動を推進し、「フェアプレイニュース」

の掲示や、主催イベントの要項等へのキャンペーンロゴの掲載等、スポーツ活動のあらゆる場面で協力及び実践の呼びかけを行う。

イ スポーツ・インテグリティ(誠実性・高潔性)の確保

スポーツ団体における「コンプライアンス(法令順守)」の強化と「ガバナンス(組織統治)」の構築のため、ガバナンスコードの順守に努めるとともに、日本スポーツ協会の加盟団体規程に基づき、各種規程等の再整備に取り組むとともに、加盟団体での規程等の整備を促進する。

ウ ハラスメントの撲滅

選手同士また選手と指導者がお互いを信頼してスポーツを行えるように、いじめや暴力・暴言、セクハラ等、これまでの指導方法の中に起こりうるハラスメントについて注意喚起を行う。

また、スポーツにおける暴力行為等に関する相談及び問い合わせに対応するために設置した相談窓口を維持、継続する。

エ アンチ・ドーピングの啓発

(ア) アンチ・ドーピング講習会

薬物乱用、誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進するため、講習会を第1回はリモート形式、第2回は集合形式での開催を予定していたが、県からの「新型コロナウイルス感染症拡大防止への臨時特別協力要請」により両日ともリモートによるオンライン形式に変更し開催した。

第1回 令和3年 6月 5日(土) 参加者 7競技20人

第2回 令和3年 6月17日(木) 参加者12競技21人

(イ) 競技別アンチ・ドーピング講習会の開催

選手が多く集まる練習会や合宿に出向き年5回程度講習を開催する計画であったが、競技団体から実施希望がなかったため開催しなかった。

(2) 補償制度の推進

ア スポーツ安全保険の加入促進

関係スポーツ団体に対し、団体活動中に発生する怪我や損害等に備え、安心してスポーツが行えるようスポーツ安全保険への加入を促進した。

イ スポーツ傷害見舞金の周知

スポーツ大会等に参加した選手等で負傷又は死亡した者に対し、見舞金の給付を行った。

ウ 主催者賠償責任保険への継続加入

主催事業で損害賠償事故が起きた場合に、補償できる体制を整えるため、主催者賠償責任保険へ継続加入した。

(収益事業等)

Ⅲ 利用環境・効率の向上

1 各種サービス事業

(1) レストラン・売店等の運営

公園来園者に対する飲食等の便宜供与のため、体育館レストラン・売店における飲食の提

供、物品の販売を行うとともに、スケート靴等の貸し出しに係る斡旋業務を行いスポーツの普及支援の担い手として事業を展開した。

ア レストランの委託による運営

「やまなしグリーン・ゾーン認証施設」として認証を受け、感染拡大予防ガイドラインに則して営業を行った。

・営業時間 午前11時から午後6時まで

※通常は月曜休業(祝日の場合は営業、翌日休業)であるが、新型コロナウイルス感染拡大予防の対応として、水曜日から日曜日の週5日間の営業とした。

・販売品目 ラーメン、カレーライス、ジュースなど常時約30品目

・営業日数 235日/年(前年度実績 238日/年)

イ 売店の運営

イベントや大規模大会等の開催時に売店を開設し、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを策定し、ガイドラインに基づいた飲食物の販売を行う他、各施設の受付においてスポーツ用具(テニスラケット他)の貸出、テニスボール等の販売、協力企業の商品のセール等施設利用者のニーズに応えた売店運営を行った。

・販売品目

臨時売店:焼きそば、飲料等を約10品目

受付販売:バスケットボール等の貸出、バドミントンシャトル等の販売

ウ 自動販売機の設置

管理施設内に自動販売機を設置し、清涼飲料水・乳飲料・アイスクリーム及び菓子類等の販売を行った。

・自動販売機の設置台数

小瀬スポーツ公園 45台

緑が丘スポーツ公園 10台

富士北麓公園 7台

境川自転車競技場 2台

八代射撃場 1台

エ ジョギングハウスの活用

ウォーキングやジョギングで小瀬スポーツ公園を訪れた方々が、気軽にトレーニングも行えるよう、ジョギングハウス内に容易に扱え、安全性が高いトレーニング器具を設置し、無料で開放することで小瀬スポーツ公園の利用促進を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開放を中止とした。

オ 施設利用者への還元事業の実施

施設の利用促進と、日頃からの施設利用者に対する還元事業として、各種イベントを企画し利用者が楽しめる施設を目指した。

・クリスマス、バレンタイン企画(利用者へプレゼント配布)

カ 福利厚生事業の支援

職員が安心して働ける職場づくりの推進を図るため、職員互助会の諸事業に対し支援を行った。

2 利用効率の向上

本協会が管理する各施設の利用効率の向上ため、公益目的以外の利用についても、サービスの向上と利用促進に努め施設の有効活用を図った。

理事会議決事項

回数	開催年月日	議決事項
第1回 (通常)	令和3年6月3日	1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度予算の補正及び決算について 3 令和3年度予算の補正について 4 令和3年度定時評議員会の招集について
第1回 (臨時)	令和3年6月18日	1 会長の辞任並びに新会長及び副会長の選定について 2 副会長、専務理事の選定について
第2回 (通常)	令和3年8月4日	1 県への国体招致要望に係る加盟団体からの同意について 2 公益財団法人山梨県スポーツ協会表彰について 3 山梨県知事等に対する要望について
第2回 (臨時)	令和3年11月29日	1 スポーツ振興委員会規程の変更及びそれに伴う「総合型地域スポーツクラブ登録部会」の設置について 2 令和3年度臨時評議員会の招集について
第3回 (通常)	令和4年3月15日 (書面)	1 令和4年度事業計画について 2 令和4年度収支予算について 3 山梨学院大学との連携協定の締結について 4 スポーツ団体ガバナンスコードについて 5 諸規程の改正について

評議員会議決事項

回数	開催年月日	議決事項
定時	令和3年6月18日	1 定款の変更について 2 令和2年度事業報告について 3 令和2年度決算について 4 理事の選任について 5 評議員の選任について
臨時	令和3年11月29日	1 公益財団法人山梨県スポーツ協会定款の変更及びそれに伴う役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正について